





## 自然の恵みを たっぷり受けた番茶



薬剤師 木村望実

予防となるクロロフィルが含まれています。また、カテキンの多くも茶殻に残ってしまいます。体に良い成分が捨てられてしまっているのは勿体無いです。そこで、当店のスタッフが番茶を使って、毎日食べられる番茶のふりかけのレシピを考えました。苦味・渋みがなく、青菜のふりかけの様でとても美味しいです。ぜひ作ってみてくださいね。

また、ミルで粉碎して粉末茶として飲んで頂くこともおすすめです。番茶の甘みのあるさっぱりとした味に少し渋みのある茶葉の味を感じられます。食後のすっきりしたいときに飲んでみてはいかがでしょうか。

活は人々に恩恵をもたらし、また人間は自然の中で暮らす者のひとりであることを改めて認識しました。今回の研修を経て、当店もより自然に寄り添つた活動でお客様を健康へ導くお手伝いをさせていただきたいと思いました。

続いて番茶についての話になりますが、茶葉の七割の成分が水に溶けないことをご存知ですか？急須で入れると多くの成分が茶殻に残ってしまいます。茶殻に残る成分には、抗酸化作用があるβカロテン・ビタミンE、がん



# Recipe

材料	番茶葉出がらし	50g
	生姜	20g
	カリカリ梅	5 個
	粉末だし	1 g
	水	90ml
	胡麻	小さじ 1

準備

- ・番茶出がらしを軽く絞って冷蔵庫に保存しておく。  
(お茶を飲む回数によりますが、3回分くらい)
  - ・種を取ったカリカリ梅又は梅肉を刻んでおく。
  - ・生姜は、千切りにしておく。

## 作り方

- ① 茶葉の出がらしは、茶を煮出し、水けをきる。  
(苦味が気になる場合は、苦味がなくなるまで煮出す。)
  - ② フライパンに、①、梅、生姜、粉末だし、水を入れて火にかけ水分がなくなるまで煮詰める。
  - ③ 水分がなくなってきたら、胡麻を加えてしばらく炒め、シートの上に広げて冷ます。



## 成長は、大人の階段を 上り『続ける』こと



漢方薬・生薬認定薬剤師  
ヨガインストラクター  
大澤真以

子供の頃は、成長を喜んでくれる人が周りにたくさんいました。しかし、大人になつて自分の成長を喜んでくれる人がどのくらいいるでしょうか。年をとるほど、衰退していくというマイナスイメージから、自ら成長を止めてしまつている方もあるかと思います。しかし、大人になつてからの成長は、周りへの影響が大きく、自分への見返りも大きいのです。ここで皆様は思うはずです。「大人になつてからの成長なんて大変!」「若いころのようにはいかない」と。たしかに大人になつてからの成長は、大変です。子供の時のように、ゼロからのスタートではなく、これまでの知識や経験がある上で自分の習慣を変えなければならないからです。そこで、成長する上で大切なことを二つお伝えします。

一つ目は、新しいものを取り入れる勇気と変化を楽しむことです。言うのは簡単ですが、一つ目から、とても難易度が高そうに感じます。これだけ分かっていても、なかなか大人の階段は登り続けられません。そこで、二つ目に大切なことは、その成長を誰のために行うかです。子供は、自分が生きるために成長します。大人は、周りの人のために成長します。結果として、自分のためにもなります。周囲が自分への変化を求める時、これまでの自分の習慣や価値観を変えるきっかけとなるはずです。ただ周囲が自分への変化を求めるだけでなく、相手がなぜそう思っているのか本当の意味を感じとした時、大人が大きく成長できるチャンスです。成長は、今までの経験・知識を一旦手離し、新しいものを取り入れようとする行動であり、決して今までの自分を否定するものではありません。成長に限界はなく、皆様の周りに成長を一緒に喜んでくれる人がいると信じています。今年の目標を決めて、勇気をもつて大人の階段を一緒に上り続けましょう。



## 令えからくる不妊症 ある36歳の女性漢方薬



薬剤師 / 東邦大学客員講師  
鈴木 寛彦

冷え性は様々な病気を引き起こします。この方は、生理不順、多嚢胞性卵巢（右）と高プロラクチン血症がある方でした。

体质は、中肉中背、イライラしやすい、人に気を使う、顔色は色白、手足の冷え、ややのぼせ、疲れやすい、足のむくみ、大便一日一回で下痢しやすい、低血圧、めまい、小児期乗り物酔いあり、唇の乾燥、肩凝り、胸焼け、胃痛、腹痛、お腹の張り、皮膚は乾燥気味、生理不順で生理が遅れやすく甘いものが大好きでした、飲酒は、週三四回、朝食はパン食、睡眠時間六時間、運動は特にしていませんでした。

体を中から温める、温経湯を十四日服用し、腕、背中、足、お腹に温疹ができはじめました。只、冷えと下痢は調子が良いのです。三十日服用温疹が治まり自然妊娠され、その後、無事ご出産されました。

産後四ヶ月にまぶた、頬、首の温疹を訴えご来店されました。甘いものは食べています。授乳中で産後の体力低下も考えて、帰着建中湯を三十日飲んでいただきました。温疹は変わらず、温経湯に変更し、皮膚は改善されました。

それから、そろそろ第二子を考えたこと相談され、断乳も少し遅れ、三度、温経湯服用で六ヶ月自然妊娠されました。しかし残念なことに五週で流産されました。

腰から首にかけての全身の凝り、むくみ、目の疲れからの頭痛、声のかすれ、生理は三十五日でした。そして当帰芍薬散料に変更し、すぐさま味が合わないと言われ、小便の量が減り、背中が凝り、頭痛がひどくなりました。そして、温経湯に戻すこと四ヶ月後自然妊娠され安定期に入りました。